

日蓮大聖人御書全集

げんぜむけんごしよ

現世無間御書

新版  
2152

げんぜむけんごしよ  
現世無間御書

頸

斬

流

説

あるいはくびをきり、あるいはながさればととかれて、

ほうもん

ねはんぎよう

しゅごきようとう

ほけきよう

るつう

おんきよう

説

この法門を涅槃經・守護經等の法華經の流通の御經にとき

繼

たま

そうろう

くに

ぼんのう

たいしやく

ほとけ

仰

つがせ給いて候は、この国をば、梵王・帝釈に仏おおせ

付

たこく

責

たも

説

そうろう

つけて、他国よりせめさせ給うべしととかれて候。され

くに

ほけきよう

だいおんてき

げんぜ

むけんじごく

だいく

ば、この国は法華經の大怨敵なれば、現世に無間地獄の大苦

少

こころ

たも

きようしゅしやくそん

にちれん

方

人

すこし心みさせ給うか。教主釈尊の、日蓮がかうどを

抓

知

たも

てんしやうだいじん

して、つみしらせ給うにや。よも、さるならば、天照太神・

しょうはちまんとう

くに

方

人

たま

にちれんぼう

正八幡等は、この国のかとうどにはなり給わじ。「日蓮房の

敵

進

習

そうら

逸

そうろう

かたきなり、すすみてならわかし候わん」とぞ、はやり候

祈

悪

らん。いのらば、いよいよあしかりなん、あしかりなん。

きようきようきんげん

恐々謹言。

にがつじゅうさんにち

二月十三日

にちれん

日蓮

かおう

花押

ごへんじ

御返事